

2020年度後期 講義概要

授業科目名	公衆衛生看護学方法論Ⅱ
主担当教員名	伊藤美樹子
配当学年 等	3
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の健康課題の明確化するために必要な疫学統計、保健医療情報や住民の生活に深く関わる社会経済的な背景に関する情報、ならびにそれらの分析方法を理解し、地域診断のために用いることができる。 2. ヘルスニーズの分析のために必要な情報を選択し、適切な方法で分析結果を示すことができる。 3. 得られた分析結果の評価方法がわかる。 4. 地域の健康増進能力を高める個人・家族・集団・組織への継続的支援と協働・組織活動に関するニーズや公衆衛生活動の成果を資料にして表すことができる。 5. ヘルスニーズや公衆衛生看護活動の課題を根拠を用いて説明することができる。 6. 公衆衛生看護活動における地域診断の意義とPDCAサイクルを説明できる。
授業概要	<p>公衆衛生看護活動展開論実習を行う地域をフィールドとして、実習グループ別に地域診断を行い、資料を作成し、ヘルスニーズを明らかにする。また発表に際しては、効果的な根拠資料を作成し、プレゼンテーションを行う。</p> <p>4年生で実施する地域ケアマネジメント実習と連動して実施する。</p>

授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	課題有・無	授業形式(原則、対面。)
令和 2年12月14日(月)	3時限	伊藤・輿水・田淵	地域診断の進め方について	担当地域の確認と課題説明	無	対面
令和 2年12月14日(月)	4時限	伊藤・輿水・田淵	地域のヘルスニーズのための情報収集1	e-statや地図を用いたデータ収集	有	対面
令和 2年12月17日(木)	3時限	伊藤・輿水・田淵	地域のヘルスニーズのための情報収集2	e-statや地図を用いたデータ収集	無	対面
令和 2年12月17日(木)	4時限	伊藤・輿水・田淵	地域のヘルスニーズのための情報収集3	e-statや地図を用いたデータ収集	有	対面
令和 2年12月23日(水)	2時限	伊藤・輿水・田淵	地域のヘルスニーズのための情報収集4	e-statや地図を用いたデータ収集	無	対面
令和 2年12月23日(水)	3時限	伊藤・輿水・田淵	地域のヘルスニーズの分析1	地域特性の分析	有	対面
令和 2年12月23日(水)	4時限	伊藤・輿水・田淵	地域のヘルスニーズの分析2	地域特性の分析	無	対面
令和 3年01月05日(火)	2時限	伊藤・輿水・田淵	地域のヘルスニーズの分析3	地域特性の分析	有	対面
令和 3年01月05日(火)	3時限	伊藤・輿水・田淵	地域のヘルスニーズの分析4(中間報告)	地域特性の分析	無	対面
令和 3年01月05日(火)	4時限	伊藤・輿水・田淵	効果的な資料の作成1	報告資料の作成	有	対面
令和 3年01月20日(水)	2時限	伊藤・輿水・田淵	効果的な資料の作成2	報告資料の作成	無	学外
令和 3年01月20日(水)	3時限	伊藤・輿水・田淵	効果的な資料の作成3	報告資料の作成	無	学外
令和 3年01月20日(水)	4時限	伊藤・輿水・田淵	プレゼンテーションの準備	発表準備	無	学外
令和 3年01月27日(水)	3時限	伊藤・輿水・田淵	発表	成果の発表	無	学外
令和 3年01月27日(水)	4時限	伊藤・輿水・田淵	発表	成果の発表	有	学外
授業形式・視聴覚機器の利用	実習地域のヘルスニーズについて、既存資料(統計資料・地図)を用いて分析する。発表 1グループ 25分(発表15分・質疑10分)					
評価方法	演習(グループワーク)と個別課題レポートによって評価する。なお2/3の出席を評価の要件とし、最終評価には、授業時の意見や発言を加味する。					

教科書・ 参考文献	
学生への メッセージ	4年次の地域ケアマネジメント実習と連動しており、実習初日に発表する。地域診断についての理解のみならず、WordやExcelの基本的操作をマスターし、プレゼンテーションの資料作成ができるようにして臨むこと。